

LDR-MA18FU2/WM ハードウェアマニュアル for macintosh

下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

製品の特徴

使用上のご注意

対応ディスクについて

ご使用の際のヒント

PC電源連動機能について

よくある質問 (Q&A)

使用環境について

ハードウェア仕様

保証とサービスについて

製品の特徴

LDR-MA18FU2/WMは、DVD-RAM、1層DVD+R、2層DVD+R、DVD+RW、1層DVD-R、2層DVD-R、DVD-RWの各メディアへの書き込みに対応したUSB 2.0 High-Speed、IEEE 1394 接続タイプのDVD-RAM ± R/RW (DVDスーパーマルチ)ドライブユニットです。

LDR-MA18FU2/WMは以下の「11種類」のディスクを使用することができます。

ディスク	対応速度	ディスク	対応速度
DVD-RAM	12倍速書き換え	DVD-RW	6倍速書き換え
2層DVD+R	10倍速書き込み	CD-R	40倍速書き込み
1層DVD+R	18倍速書き込み	CD-RW	32倍速書き換え
DVD+RW	8倍速書き換え	DVD-ROM	16倍速読み込み
2層DVD-R	10倍速書き込み	CD-ROM	40倍速読み込み
1層DVD-R	18倍速書き込み		

DVDディスク、CDディスクともに書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したディスクをご使用ください。

パソコン環境や使用するDVDディスクによっては、18倍速での書き込みができない場合があります。

DVDビデオフォーマットで書き込んだDVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWディスクは、市販のDVDプレーヤーでの再生が可能です。

DVDビデオ作成、PCデータ保存のためのライティングソフトが添付されています。

2層DVD+Rディスクに対して「DVDビデオ」として書き込みを行った場合、および「DVD-ROM互換」のDVDを追記不可で書き込みを行った場合には、ディスクタイプを「DVD+R DL」から「DVD-ROM」へと変更することにより、再生互換性をより高いものにしていきます。

DVD-RAM ディスクは Mac OS 標準ドライバが認識し、Finder 上で「PC データ」の書き込みができます。フォーマットは、「ディスクユーティリティ」で行うことができます。Windows 環境との互換を取りたい場合は、「MS-DOS フォーマット」を選択することで「FAT32」によるフォーマットが行われます。Windows XP の環境であれば、そのままアクセスすることができます。

「DVD-RAM Ver.2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0」に対応していますので、12 倍速対応 DVD-RAM ディスクを使用することにより、「DVD-RAM ディスクの 12 倍速書き換え」が可能です。

フロント部にシャッターを装備することにより、DVD/CD ディスクの高速回転による耳障りな風きり音など、耳障りな高温ノイズを低減しています。

注意事項

- ・ SuperDrive / コンボドライブ / DVD-ROM ドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVD ビデオの再生を行うことはできません。
- ・ USB 2.0 接続でご使用の場合は、1 層 DVD+R ディスク / DVD-R ディスクへの書き込みは 8 倍速に制限されます。
- ・ 本製品は DVD+R ディスクへの書き込み・読み込みに対応したドライブを採用しておりますが、Mac OS X 10.2.8 以前の環境では、記録されたデータを読み込むことができません。
- ・ Macintosh 環境では、付属のライティングソフトウェア「Toast 6 Lite」は、DVD ディスクへの追記書き込みには対応しておりませんので、DVD ディスクに追記書き込みすることはできません。
- ・ 市販されている DVD ビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・ 市販の DVD プレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW ディスクに対応していないものもあります。本製品で作成した DVD ビデオが再生可能かどうかは、ご使用の DVD プレーヤーのマニュアルをご確認ください。
- ・ 市販のレンズクリーニングキットは使用しないでください。ドライブヘッドを傷つけ読み書きできなくなります。

注意事項（続き）

- ・ 著作権保護機能（CSS、CPPM、CPRM等）やコピー防止機能（COPY CONTROL CD等）が不加されているディスクは複製できません。
- ・ 本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- ・ DVDディスクにはラベル、シール等を貼付しないでください。偏重心を起こし、ディスクが正常に読み込めなくなる場合があります。
- ・ 本製品はセルフパワー（電源コードからの電源供給）で動作します。バスパワー（FireWireまたはUSBポートからの電源供給）では動作しません。
- ・ Toast 6 Liteで作成するDVDビデオには、登録できるタイトルは2つまでに制限されます。
- ・ Windows環境などでフォーマットされた、UDF 2.0のDVD-RAMディスクを読み込むことはできません。
- ・ DVDレコーダで録画したDVD-RAMディスクおよび、VRモードで録画されたDVD-RWディスクを、読み込むことはできません。読み込む場合は、別途「Roxio Toast 7 Titanium」がインストールされている必要があります。

使用上のご注意

ここでは製品の取り扱いについての注意事項についてご説明いたします。
参照したい項目をクリックしてください。

接続の際の注意

ディスクの取り扱いについて

DVD-RAM ディスクについて

ディスクのセットと取り出し

本製品の取り外しについて

接続の際の注意

本製品をコンピュータに接続する際は以下の点にご注意ください。

- ・ 本製品はハブ経由では接続しないでください。ハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・ 本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず AC アダプタのコンセントを接続してください。
- ・ 複数の FireWire 機器または USB 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・ 接続に使用するケーブルは必ず本製品付属のものにしてください。付属品以外のケーブルを使用した場合、まれに書き込みエラーなどが生じる場合があります。また、USB 接続でご使用になる場合、USB 1.1 対応ケーブルを使用すると書き込みエラーなどが多発します。

ディスクの取り扱いについて

正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われず、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、等の障害が発生する場合があります。

ディスクの取り扱いについては、本ハードウェアマニュアルやご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。ディスクの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。

本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

取扱い上のお願い

ディスクをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはディスクのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。

ディスクは指でディスク中央の部分の穴の部分と外側の部分をはさむようにして持ってください。

ディスクの記録面には触らないでください。ディスクは印刷されていない方が記録面となります。

ディスクの表面はゴミやほこり、指紋などで汚したり傷つけたりしないでください。

また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。(書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。)

ディスクの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。

ディスクが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のもものは使用しないでください。

キズや汚れからディスクを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースに収めてください。

ディスクを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。ディスクに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。

ディスクのドライブへのセット方法は「ディスクのセットと取り出し」をご参照ください。

次のような場所には置かないでください。

ゴミやほこりの多い場所。

温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。

温度差の激しい場所。(結露が生じます)

DVD-RAM ディスクについて

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAMは、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAMメディアには以下のタイプがあります。

- TYPE1** : カートリッジからディスクの取り出しはできません。(本製品では使用できません)
- TYPE2** : 片面のディスクで、カートリッジからディスクの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)
- TYPE4** : 両面のディスクで、カートリッジからディスクの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)

カートリッジなしタイプのDVD-RAMディスクも市販されています。

TYPE2、TYPE4 DVD-RAM ディスクの取り扱い

次のような所には置かない

ゴミやほこりの多い場所。

温度、湿度の高いところ、直射日光のあたる所。

温度差の激しい所

取扱い上のお願

ディスク表面に触れない。

落としたり、曲げたり、重いものを乗せない。

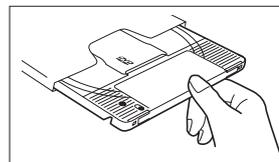
はがしたラベルを再度貼らない。

使用しないときはカートリッジに収めケースに入れて保管する。(右図)

定期的にバックアップ(データの複製)を行う。

大切なデータを保護するときはカートリッジ収納時に「書き込み禁止」にしておく(右図)

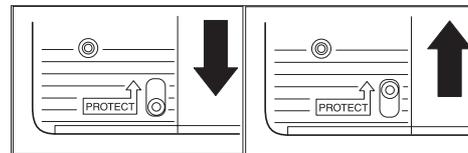
ただし、このようにしている場合もカートリッジから取り出した際に書き込みを制限できるものではありません。



図

書き込み可能

書き込み禁止



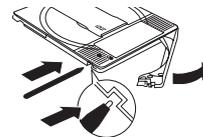
図

TYPE2 カートリッジからディスクを取り出す場合

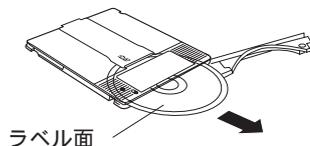
- 1** カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押しさえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出します。



ディスクを収納するときは

カートリッジのデザイン面とディスクのラベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト(書き込み禁止・許可)の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

ディスクを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のディスクを入れて使用しないでください。

ディスクの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水(油)滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

ラベル面への文字の書き込みは柔らかい油性のフェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。

ディスクにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

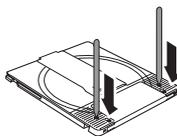
ディスクが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

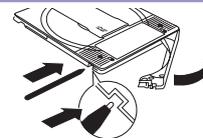
ディスクを落下させたり、曲げたりしないでください。

TYPE4 カートリッジからディスクを取り出す場合

- 1** カートリッジのロックピン（2ヶ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



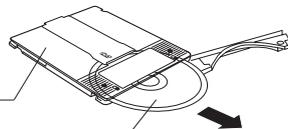
- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出します。

1. カートリッジ A 面と

2. SIDE A 面が同じ方向



ディスクを収納するときは

カートリッジの A 面とディスクの SIDE A を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

ディスクを取り出した後のカートリッジに DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。

ディスクの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

ディスクにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

ディスクが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

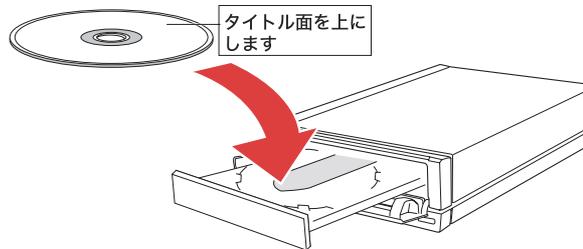
ディスクを落下させたり、曲げたりしないでください。

ディスクのセットと取り出し

ディスクをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でタイトルなどが印刷されている面を上にして、トレイにセットしてください。

ディスクを取り出す際は、デスクトップ上でマウントされているディスクのアイコンをゴミ箱()に重ねてください。

ゴミ箱のアイコンはディスクのアイコンを選択すると取り出しのアイコンに変化します。

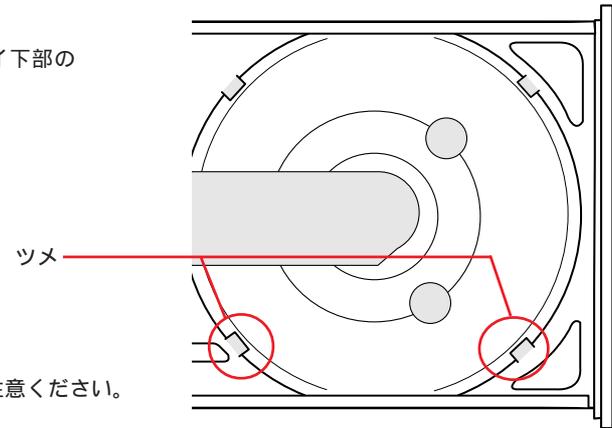


ご注意

- ・本製品でカートリッジ付き DVD-RAM ディスクをご使用になる場合は、カートリッジから取り出して直接ディスクを本製品にセットしてください。TYPE1 の DVD-RAM ディスクはカートリッジからディスクの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・ディスクをセットしたまま本製品を移動すると、ディスクを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはディスクがセットされていないことを確認してください。
- ・DVD ディスクにはラベルを貼付しないでください。ディスクが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・ディスクやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。ディスクの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、ディスクとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、ディスクをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでディスクを支えるようにしてください。



縦方向で設置した場合、8cm ディスクは全て使用できません。ご注意ください。

本製品の取り外しについて

本製品はインターフェースとしてFireWire & USBを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・ 書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・ DVD/CDディスクをマウントしている状態では取り外しを行わないでください。取り外しを行う前に、本製品からディスクを取り出しおいてください。
- ・ 本製品や併用しているFireWire 機器やUSB 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。
- ・ パソコン本体がスリープ状態になっているときは取り外しを行わないでください。

対応ディスクについて

LDR-MA18FU2/WMの対応するディスクは以下の通りです。

対応ディスク (DVD-RAM)

容量	ディスク対応速度	書き込み速度	読み込み速度
片面 4.7 GB 両面 9.4 GB	12 倍速対応 Ver. 2.2 / 12 X - SPEED DVD- RAM Revision 5. 0	12 倍速	12 倍速
	5 倍速対応 Ver. 2.2 / 5 X - SPEED DVD- RAM Revision 2. 0	5 倍速	5 倍速
	3 倍速対応 Ver. 2.1 / 3 X - SPEED DVD- RAM Revision 1. 0	3 倍速	5 倍速
	2 倍速対応 Ver. 2. 1	2 倍速	5 倍速

Type1のDVD-RAMディスクは使用できません。Type2、Type4のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出してご使用ください。

対応ディスク（DVD-RAM 以外）

ディスク名	容量	書き込み速度	読み込み速度
2 層 DVD+ R	8.5 GB	10倍速 / 8倍速 / 6倍速 / 4 倍速 / 2.4 倍速	8 倍速
1 層 DVD+ R	4.7 GB	18倍速 / 16倍速 / 8倍速 / 4 倍速 / 2.4 倍速	10 倍速
DVD+ RW	4.7 GB	8倍速 / 6倍速 / 4 倍速 / 2.4 倍速	8 倍速
2 層 DVD- R	8.5 GB	10倍速 / 8倍速 / 6倍速 / 4 倍速 / 2倍速	8 倍速
1 層 DVD- R	4.7 GB	18倍速 / 16倍速 / 8倍速 / 4 倍速 / 2倍速	10 倍速
DVD- RW	4.7 GB	6倍速 / 4倍速 / 2倍速 / 標準速	8 倍速
DVD- ROM 1 層	4.7 GB	-	16 倍速
DVD- ROM 2 層	8.5 GB	-	8 倍速
CD- R		40倍速 / 32倍速 / 16倍速 / 8倍速	40 倍速
CD- RW		32倍速 / 24倍速 / 10倍速 / 4倍速	40 倍速
CD- ROM		-	40 倍速

すべて FireWire 接続時の理論値です。

USB 2.0 接続でご使用の場合、1 層 DVD+R ディスク / 1 層 DVD-R ディスクへの書き込みは 8 倍速に制限されます。

DVD-RAM 以外のディスクへ書き込みを行う際、ドライブ側ではベリファイを行いません。データの書き込みを行った後は、念のため読み込みを行ってディスクに正しくデータが書き込まれていることをご確認ください。

ご注意

DVD ディスク / CD ディスクともに書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したディスクをご使用ください。

DVD ディスクにはラベルなどを貼り付けないでください。ディスクが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。

推奨ディスクメーカー

メディアの種類	推奨メディアメーカー
DVD-RAM	日立マクセル株式会社 / 松下電器産業株式会社
2層DVD+Rメディア	三菱化学メディア株式会社
2層DVD-Rメディア	三菱化学メディア株式会社
1層DVD+Rメディア	TDK株式会社 / 太陽誘電株式会社 / 日立マクセル株式会社 / 三菱化学メディア株式会社 / ソニー株式会社 / 株式会社リコー
1層DVD-Rメディア	太陽誘電株式会社 / TDK株式会社 / 日立マクセル株式会社 / 三菱化学メディア株式会社 / ソニー株式会社 / 富士フイルム株式会社
DVD+RWメディア (8倍速)	株式会社リコー
DVD+RWメディア (4倍速)	三菱化学メディア株式会社 / 株式会社リコー / TDK株式会社 / 日立マクセル株式会社 / ソニー株式会社
DVD-RWメディア (6倍速)	日本ビクター株式会社 / 三菱化学メディア株式会社 / TDK株式会社
DVD-RWメディア (4倍速以下)	TDK株式会社 / 日本ビクター株式会社 / 三菱化学メディア株式会社
CD-Rメディア	ソニー株式会社 / 太陽誘電株式会社 / 三菱化学メディア株式会社 / 日立マクセル株式会社 / 富士フイルム株式会社
CD-RWメディア	三菱化学メディア株式会社 / 株式会社リコー / TDK株式会社 / 日立マクセル株式会社 / ソニー株式会社

最新情報は弊社 Web サイト(<http://www.logitec.co.jp/>)の製品情報でご確認いただけます。
18 倍速書き込みには三菱化学メディア株式会社製 16 倍速対応メディアをご使用ください。

ご使用の際のヒント

DVD ビデオを作成する場合

DVD ビデオを作成するには、映像素材の取り込み、オーサリング、ディスクへの書き込みの順に作業を行う必要があります。

1. 映像素材の取り込み

DV カメラなどから映像素材をデータとして取り込むには、アップルコンピュータ社製ソフトウェア「iMovie」をご使用ください。

2. オーサリング、ディスクへの書き込み

オーサリング（取り込んだ映像素材を並べ替えたり、効果を与える作業）から、書き込みまでは本製品に付属のソフトウェア「Toast 6 Lite」を使用していきます。

iDVD5で作成されたDVDビデオのディスクイメージをToast 6 Liteで書き込むことができます。

Toast 6 Liteの使い方については、Toast 6 Liteのクイックガイドをご参照ください。

データの書き込み（DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、CD-R、CD-RW）

データの書き込みは、本製品に付属のソフトウェア「Toast 6 Lite」を使用します。

「Toast 6 Lite」では、「データDVD」「データCDの作成」「オーディオCDの作成」「CDのバックアップ」を行うことができます。

Toast 6 Liteの使い方については、Toast 6 Liteのクイックガイドをご参照ください。

Mac OS X 10.4以降のバージョンではFinder上でデータの書き込みができます。

再生

DVD ビデオおよび音楽CDの再生は、アップルコンピュータ社純正のソフトウェアが使用可能です。

DVD プレーヤ : DVD ビデオ再生ソフトウェア

iTunes : 音楽CD再生ソフトウェア

SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROMドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVDビデオの再生を行うことはできません。

Mac OS X 10.4以降のバージョンではiTunesを使って音楽CDの作成を行うことができます。

DVD-RAM ディスクのフォーマット（初期化）

DVD-RAM メディアをご使用になる場合は、以下の方法でフォーマットを行ってください。

Mac OS X 10.4 以降のバージョンではDVD ± RW、CD-RW もこの方法でフォーマットを行えば、データの書き換え（DAO）が可能です。

DVD ± R、CD-R に関してはフォーマットは必要ありません。

フォーマット手順

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」、「ユーティリティ」、「ディスクユーティリティ」を選択してください。

本製品にDVD-RAM メディアをセットします。

その際、右のウィンドウが表示されることがありますので、「無視」ボタンをクリックしてください。



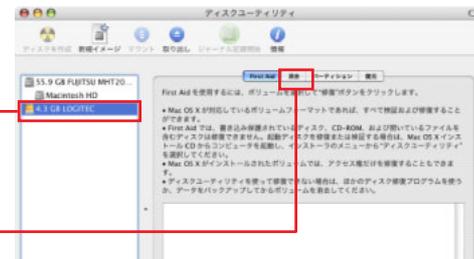
「無視」をクリック

ディスクの一覧に「4.3GB LOGITEC」が表示されますので、クリックして選択後、「消去」タブを選択してください。

1. 「4.3GB LOGITEC」

を選択

2. 「消去」タブを選択

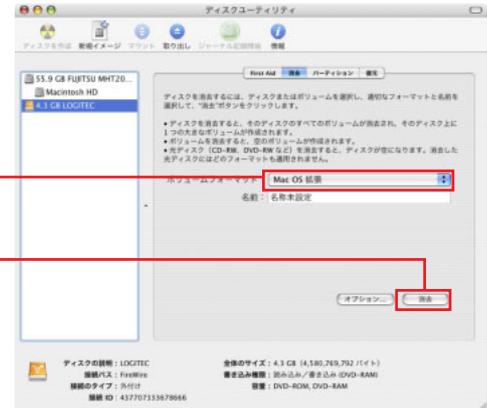


ボリュームフォーマットで「Mac OS 拡張」を選択し、「消去」ボタンをクリックしてください。

1. 「Mac OS 拡張」を選択

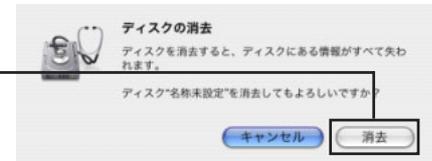
2. 「消去」をクリック

Windows とのデータ交換に使用する場合は、ボリュームフォーマットに「MS-DOS」を選択してください。ただし、「MS-DOS」フォーマットはMacintosh環境でご使用の場合、恒久的に使用する用途としては適していません。



確認のメッセージが表示されるので、再度「消去」ボタンをクリックしてください。

クリック



デスクトップに右のアイコンが表示されれば、フォーマット（初期化）は終了です。ディスクユーティリティを終了しておいてください。



PC 電源連動機能について

PC 電源連動機能とは、接続先のパソコンの電源の ON/OFF に連動して、DVD ユニットの電源の ON/OFF が切り替わる機能のことです。いったん本製品の背面の電源スイッチを「AUTO」に設定してパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源の ON/OFF に連動して本製品の電源も ON/OFF されます。

LDR-MA18FU2/WM の ON/OFF は下表のように切り替わります。

動作	電源スイッチ		
	AUTO時	ON時	OFF時
起動中のパソコンに接続した時	ON	常にON	常にOFF
接続先のパソコンの電源をOFFにした時	ON		
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰した時	ON		
USBケーブルを外した時	OFF		
パソコンがシャットダウンした時	OFF		
パソコンがスリープや省電力モードになった時	OFF		

- ・ ご使用のパソコンの環境によっては、PC 電源連動機能が正常に機能しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチで ON/OFF を切り替えてください。
- ・ 省電力モードから復帰するときにシステムが不安定になるような場合には、パソコンの省電力機能を OFF に設定してください。
- ・ DVD ユニットを接続した状態でパソコンを起動する際、PC 電源連動機能により DVD ユニットの電源が ON/OFF を繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
- ・ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は必ず付属の AC アダプタを電源コンセントに接続してご使用ください。



ここではDVDユニットをご使用の際に寄せられる良くある質問についてお答えしております。参照したい項目をクリックしてください。

本製品がまったく認識されません。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

セットしたディスクが認識されません。

サスペンドモードから復帰できません。

DVD-RAMのアクセス時にエラーが発生します。

DVDディスクに追記書き込みできません。

ディスクの書き込み時にエラーが多発します。

パソコン上でDVDビデオが再生できません。

DVD-RAMに書き込みができません。

特定のDVD-ROM / CD-ROMをアクセスできません。

DVDユニットを使用して作成したDVDビデオが市販のDVDプレーヤーで再生できないのですが？

Q >>>>

question

本製品がまったく認識されません。

A >>>>

answer

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？また、使用 OS のバージョンに問題はありますか？

本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

Q >>>>

question

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されません。

A >>>>

answer

ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

Q >>>>

question

セットしたディスクが認識されません。

A >>>>

answer

裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

Q >>>

question

サスペンドモードから復帰できません。

A >>>

answer

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。省電力機能は OFF にしてご使用ください。

Q >>>

question

DVD-RAM のアクセス時にエラーが発生します。

A >>>

answer

DVD-RAM は汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってみてください。
ディスクの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生する DVD-RAM のデータをバックアップして、フォーマットからやり直してください。

Q >>>

question

DVD ディスクに追記書き込みできません。

A >>>

answer

Macintosh 環境でご使用の場合、付属のライティングソフトウェア「Toast 6 Lite」は、DVD ディスクへの追記書き込みには対応していませんので、DVD ディスクに追記書き込みすることはできません。

Q >>>>

question

ディスクの書き込み時にエラーが多発します。

A >>>>

answer

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「使用環境について」をご参照ください。

Q >>>>

question

パソコン上で DVD ビデオが再生できません。

A >>>>

answer

SuperDrive / コンボドライブ / DVD-ROMドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVDビデオの再生を行うことはできません。

リージョンコード「2」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか？ これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生できません。

DVD ビデオ再生用のソフトウェアはインストールしていますか？本製品には DVD 再生用のソフトウェアは付属してありません。DVD 再生用ソフトウェアがない場合、別途アップルコンピュータ社ホームページより入手していただく必要があります。

リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

Q >>>>

question

DVD-RAM に書き込みができません。

A >>>>

answer

正常にフォーマットされた DVD-RAM を使用していますか？

Q >>>>

question

特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできません。

A >>>>

answer

そのディスクは DVD+R ディスクではありませんか？ DVD+R ディスクは Macintosh 環境では Mac OS X 10.3 以降でのみお使いになれます。

そのディスクは「2」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？ そのディスクは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生できません。

Q >>>>

question

DVD ユニットを使用して作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できないのですが？

A >>>>

answer

市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW の各ディスクに対応していないものもあります。ご使用の DVD プレーヤー - のカタログ・取扱説明書などをご確認ください。

使用環境について

FireWire ポートに接続する場合

パソコン本体

アップルコンピュータ社

Mac mini	iMac G5
iMac (USB 2.0)	iMac(17-inch 1GHz)
iMac(17-inch Flat Panel)	iMac(Flat Panel)
iMac(Early 2006)	iBook G4
MacBook Pro	iBook (Dual USB 以降)
Power Mac G5	Power Mac G4 (AGP Graphics 以降)
Power Mac G4 Cube、	PowerBook G4
eMac	eMac G4

Power Mac G4 (PCI Graphics) は未対応です。
SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROMドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS

Mac OS X 10.2 以降

全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。
DVD+R ディスクの読み込みには、Mac OS X 10.3 以降の環境が必要です。
ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定はOFFにしてご使用ください。

USB ポートに接続する場合

パソコン本体

アップルコンピュータ社

Mac mini	iMacearly 2006
iMac G5	iMac (USB 2.0)
Power Mac G5	MacBook Pro
iBook G4	
PowerBook G4(USB 2.0 を標準搭載している機種)	
Power Mac G4	Power Macintosh G3(Blue and White)

Power Mac G4、Power Macintosh G3(Blue & White) の場合、USB 2.0 High-Speedでの動作には、USB 2.0 High-Speed対応のインターフェースボードまたはインターフェースカードの増設が必要です。
SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROMドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS

Mac OS X 10.2 以降

DVD+R ディスクの読み込みには、Mac OS X 10.3 以降の環境が必要です。
USB 1.1ポートへの接続はできません。
全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。
ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定はOFFにしてご使用ください。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - MA18FU2/WM
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2 MB
インターフェース		ATAPI (Ultra ATA/66)
コネクタ形状		ピンヘッダータイプ 40 ピン
ドライブメーカー		パイオニア株式会社
書き込み 速度 *1*2	DVD-RAM	12 倍速 *3*4
	DVD+ R 2 層	10倍速 / 8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD+ R 1 層	18倍速 / 16倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD+ RW	8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2.4倍速
	DVD- R 2 層	10倍速 / 8倍速 / 6倍速 / 4倍速 / 2倍速
	DVD- R 1 層	18倍速 / 16倍速 / 8倍速 / 4倍速 / 2倍速
	DVD- RW	6倍速 / 4倍速 / 2倍速 / 標準速
	CD- R	40倍速 / 32倍速 / 16倍速 / 8倍速
	Ultra Speed タイプ CD- RW	32倍速 / 24倍速 / 10倍速
	Ultra Speed タイプ CD- RW High Speed タイプ CD- RW	24倍速 / 10倍速
Multi Speed タイプ CD- RW	4倍速	
読み込み 速度 *1	DVD- RAM Ver 2.2 12X-SPEED	12 倍速
	DVD- RAM Ver 2.2	5 倍速 *4
	DVD- RAM Ver 2.1	5 倍速 *4
	DVD- ROM (1 層)	16 倍速
	DVD- ROM (2 層)	8 倍速
	DVD ビデオ (CSS 有り)	8 倍速
	DVD + R 2層、DVD - R 2層	8 倍速
	DVD+ R 1 層、DVD- R 1 層	10 倍速
	DVD+ RW、DVD- RW	8 倍速
CD- ROM、CD- R、CD- RW	40 倍速	
記録方式	DVD+ R	Sequential write方式
	DVD- RAM DVD+ RW	Multi Session方式
	DVD- R	Random Write方式
		Disc at once方式
		Incremental recording方式
		Multi Border方式

*1 DVDディスクは1385KB/sを標準速とし、CDディスクは150KB/sを標準速とします。記載されている速度は全てUSB 2.0 (High-Speed) またはIEEE 1394での使用時のものです。USB 1.1接続で使用する場合、DVDディスクは標準速未満、CDディスクは書き込み・読み込みともに8倍速未満に制限されます。

*2 設定速度に対応したディスクをご使用ください。

*3 12倍速での書き込みを行うためには12倍速対応のDVD-RAMディスク「12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0」が必要です。

5倍速での書き込みを行うためには5倍速対応のDVD-RAMディスク「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。

3倍速での書き込みを行うためには3倍速対応のDVD-RAMディスク「3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0または、5倍速対応のDVD-RAMディスク「5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0」が必要です。

注：ver 1.0の2.6GB、5.2GBディスクは対応しておりません。

*4 カートリッジに入ったDVD-RAMディスクは、使用できません。カートリッジから取り出して、使用してください。

記録方式	DVD- RW	Disc at once方式	
		Restricted Overwriting方式	
	CD- R CD- RW	Incremental Recording方式	
		Track at once方式 / Disc at once方式 Session at once方式 / Packet write方式	
記憶容量	DVD- RAM Ver 2.1 以降	片面ディスクで 4.7 GB 両面ディスクで 9.4 GB	
	DVD+ R 2 層 DVD- R 2 層	片面ディスクで 8.5 GB 以下	
	DVD+ R 1 層、 DVD+ RW DVD- R、DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下	
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下	
平均アクセスタイム	DVD- RAM	210 ms	
	DVD- ROM	130 ms	
	CD- ROM	120 ms	
最大データ転送速度*5	IEEE 1394	400Mbps	
	USB 2.0	480Mbps	
DVD - ROM 関係	フェーズ	フェーズ 2	
	リージョンコード	2 (固定)	
	CPRM	対応	
環境条件 *6	動作時	温度	10 - 35
		相対湿度	20 % - 80 %
	保管時	温度	- 10 - 50
		相対湿度	10 % - 90 %
入力電圧		AC 100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力 (定格)		11 W *7	
外形寸法 幅 × 奥行き × 高さ		162 × 265.5 × 52.3 mm *8	
質量		1.6 kg *9	
設置方向		水平 / 垂直	

*5 理論値

*6 ただし、結露なきこと

*7 ACアダプタ含む

*8 横置き時、突起部を除く

*9 本体のみ

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、次ページの「サポート / 修理受付窓口のご案内」をご参照ください

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号（保証書に記載されています）

ご購入年月日、ご購入先

テクニカルサポート連絡先 ナビダイヤル

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間： 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～18:00(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268

ロジテック（株）修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL0265-74-1423 FAX:0265-74-1403

受付時間： 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)